

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース

准教授

大貫 貴久

	取組状況
教育	<p>1.「ロボット工学概論及び実習(R2)」の機械工作実習、フライス盤作業の効率化 フライス盤は二人で1台を使っているため作業効率が悪く、大幅にフライス盤工程を見直した。二人で行った方が良い部分は残し、手空きの時間に他の加工、検査などを行い、効率化と個人作業の時間を増やすことが出来た。</p> <p>2.「材料学 I (R2、A3)」の定期試験出題問題の見直し 講義ノートを基にこれまでの定期試験問題との整合性、出題範囲の適正を見直しを行い、より良問の作成を行った。具体的には、講義ノートの中で、重要、準重要、その他に分類し、重要、準重要の出題、配点を見直しをした。</p>
研究	
社会貢献	<p>1.日本熱処理技術協会の編集委員、協会賞・論文賞選考WG委員 2.日本人事試験研究センターの試験委員</p>